



地まじより すすすま

第54号
 平成10年8月5日
 須々万地区 人口5,283人
 世帯数1,744世帯
 平成10年7月1日現在
 発行 須々万地区まちづくり
 推進協議会
 須々万公民館



行こうよ、ふれあいの森へ。

片地上にあるふれあいの森は、須々万の方々のみなさんの憩いの場です。
 春は野いちご・山つつじ、夏は虫とり・キャンプ、秋は紅葉・木の実とりなどのさまざまな季節を楽しめます。

緑豊かな自然と野球場・キャンプ場・遊歩道もあり、夏休みには家族みんなで散策してみたい方が多いでしょう。

この森には、次の施設が整備されています。

- 林内幹線道 延長八三メートル 幅員三メートル
- 林間歩道 一七九七メートル
- 林間広場(A) 四五六一平方メートル
- 林間広場(B) 九八九平方メートル
- 給水施設 一式
- 休憩施設 二棟
- トイレ 一棟
- 駐車場 四〇台分



キャンプ場・グラウンドをご利用の際は、公民館までお問い合わせ下さい。

キャンプ場の水は、保健所の飲料水検査済みです。
 (ご利用時は十分程度流してからご利用下さい)

ふれあいの森奉仕作業のお礼

去る七月二十日(月)に、ふれあいの森の奉仕作業を行いました。当日は順延になったにもかかわらず、大勢の方に協力いただき、誠にありがとうございました。お陰をもちまして、ふれあいの森もきれいにナリ、利用しやすくなりました。
 北高生、中学生の皆さんも、苦勞さまでした。

活用検討委員募集

この度、ふれあいの森活用検討委員会を発足します。つきましては、活用検討委員を募集したいと思います。お問い合せは、須々万公民館 ハハ一〇〇一

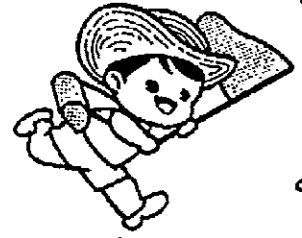
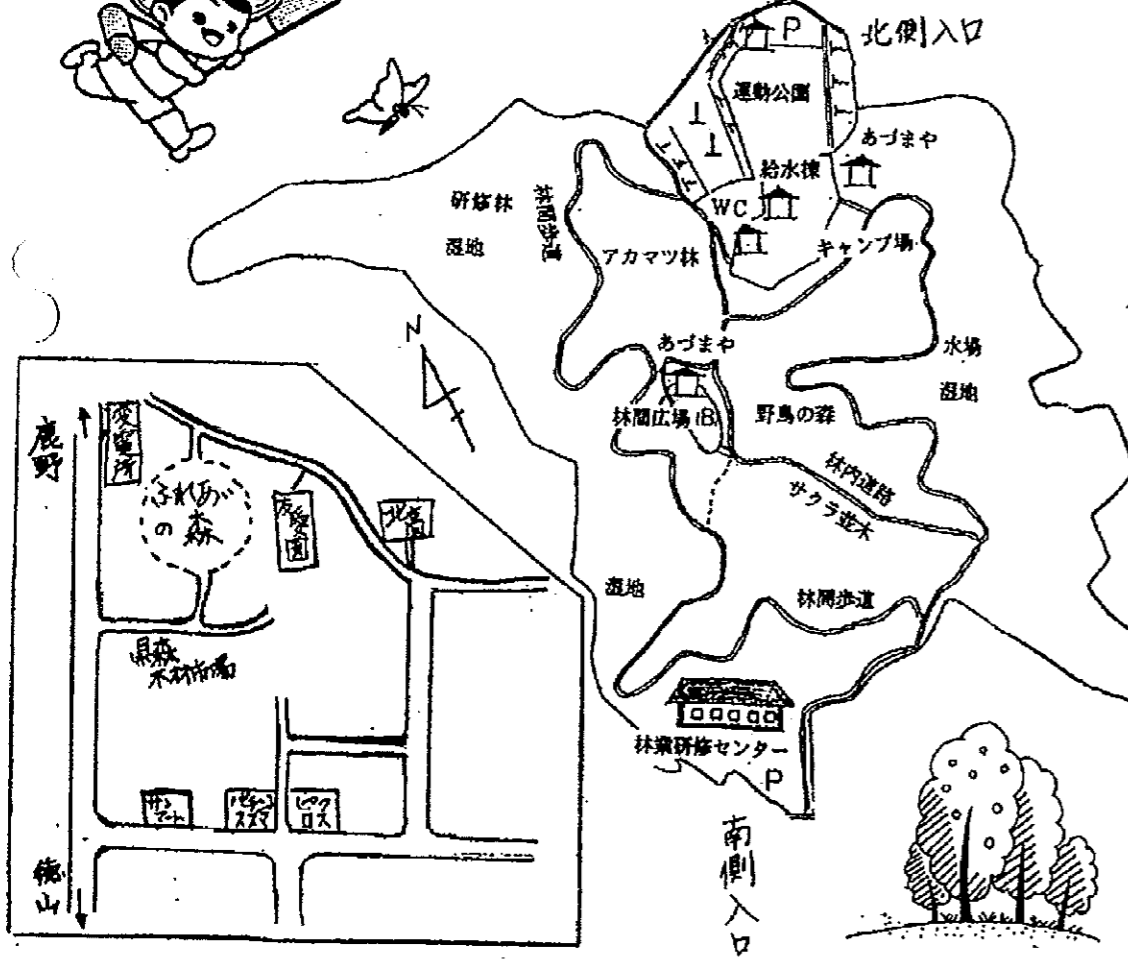
『ふれあいの森のかぶと虫』

須々万中学校PTA会長 高藤弘樹

今年と来年の二ヶ年に渡って、教育委員会からの要請を受けて須々万中学校に家庭教育学習会を開催しました。日頃、学校へ出向く機会が少なかった親子が行事に参加し、子供たち及び学校とのふれあいを通じて家庭教育のあり方を考える場を趣旨として掲げ、手始めに何をしたらいいかと検討し、七月四日(土)の生徒たちの「ふれあいの森奉仕作業」に乗じて子供たちと共に、ふれあいの森の活用を考えてみるという打ち合わせを行いました。かぶと虫の製作も行いました。これには「オヤジの会」の方々のアイデアと力を拝借し、当日予想以上のPTA会員の皆さんの協力を得ました。

ところが当日の作業中、妙にことに気がつきました。昔から野良仕事は長袖でと親から教わっていましたが、それに背いての半袖姿にもかかわらず、蚊や虫が全く寄ってこないので、小鳥の鳴き声も聞こえず、この森は死んでしまっているのではないか、とこの心配が横切りました。でも二週間後の奉仕作業時に見て回ったところ、昆虫や小虫たちがかぶれついていろいろの確認し、ホッとしました。単に二石を投じただけの、ともしれば無責任なことになってしまいたい。今回の活動ですが、来年の「かぶと虫の孵化」を期にいろいろな形で、ふれあいの森の活用に使えばと期待をします。

ふれあいの森遊歩道案内図



老人大学「ところ変われば品変わる」

近藤先生のお話を聞いて

藤井富美

日本人は南アジア系と北アジア系の二重の民族が混り合っているとの説があります。同じアジア系のモンゴルの人達のことを親しみを持ち、又、口づかしい元寇の歌も聞かせていただきながらの楽しいお話しでした。

かつては私達の家族の中でも家族全員が一体感を持っていた様に思いますが、父権が弱くなり子供達も強い自己主張をし、文明文化の生活の中ではお手伝いなど珍らしくなりました。モンゴルの子供達がそれだけの役割を果たす生活に、失われかけている私達家族のキズミのことをうらやましく感じました。

お話の中での風葬のことですが、霊が昇天し、風葬をした後の骨が残っている早真がありました。同様に高葬をする民族もありますが、人骨も動物の骨の様に自然に土に返る日を待つのでしょうか。命の七くつしたものをお日さまにさらすことに抵抗を持つのは、私達に弥生時代に既に古墳を作っていた二重の民族の血が流れているからなのでしょう。

阪神方面の震災の時、世界のどの国よりも早く毛布を送って下さった暖い心の人々のお国、大地の恵みで生活するお国、近くて遠いお国へ一度行ってみたいと思いました。

シリーズ 環境問題

ご存知ですか？リサイクル

ゴミを減らす方法として最近注目されているのがリサイクルです。ゴミを単に捨ててしまおうのではなく、分類して集め、もう一度品物をつくる素材に戻して活用するのがリサイクルです。

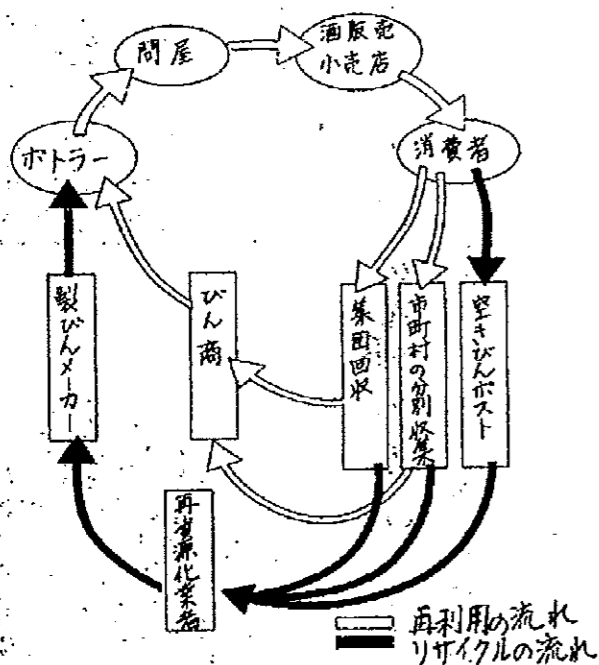
- ① 新聞紙・雑誌・牛乳パックなどの紙類
 - ② 自動車・機械などから集める鉄くずその他の素材
 - ③ ビール・ジュースのビンからとるガラスくず
 - ④ 古い衣類から集められる古繊維(ぼろ)
 - ⑤ ペットボトルなどのプラスチック
- 利用のしかたも様々です。例えば紙パックなどは、トイレットペーパーと別の紙として利用されますし、プラスチックは燃料として使われたり、分解して油分が抽出されたりします。

でも、リサイクルが完璧なゴミ対策になるわけではありせん。リサイクルして回収品を再生するときに、なんらかの環境汚染を引き起こしてしまふ可能性が否りません。

一口にリサイクルといっても、まず回収した紙やプラスチックなどを上流で工場に届け、それを洗浄したり不純物を除去したりして、さらに再生加工処理をするわけです。

古紙やペットボトルがもう一度製品に生まれ変わるまでには、石油をはじめとするたくさんの資源が使われ、排気ガスや汚水が出されます。このようにリサイクルするのである、実は環境に悪影響を及ぼす作業工程が組み

ガラスびんの再利用とリサイクル



一度素材にもどしてつくりなおすのが「リサイクル」。洗浄してそのまま使うのが「再利用」。

込まれているのです。何でもリサイクルさえすればいい、というわけではなりのです。

リサイクル以上に有効なゴミ対策としてあげられるのが「再利用」です。再利用はリサイクルに比べて低コストで手間がかかりません。また、紙や缶、ペットボトルを一度原料に戻してから製品に作り直すよりも、ビンなどを単に洗浄・再パッケージしなおすほうが環境への悪影響も少なくて済みます。

生活の中でいらなくなった品物や、再利用できる物は、まず再利用し、利用できなくなつてはじめてリサイクルをし、最終的な廃棄は先にのぼす、という姿勢が大切でしょう。

北部地区球技大会結果 (七月十二日開催)

バレーボール	一位 中須	須々万二位
ソフトボール	一位 長穂	須々万三位
ゲートボール	一位 中須B	



8/8 (土) ふれあい盆踊り & 花火大会

沼城小学校グラウンド 18時30分
(雨天の場合は8/9(日)に順延)

8/22 (土) 八朔祭

大名行列

※大名行列参加者募集
(女性腰元も募集しております)

